



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 第 18 回研修会・交流会



昨年の 12 月以来となった 2020 年 6 月 25 日（木）に天神・BiVi 福岡 で、協力医 合馬 慎二先生の司会のもと、DLBSN 福岡の第 18 回研修会・交流会を開催しました。新型コロナウイルスの感染対策として、参加者の皆様には体調をご確認頂き、入室時の手指消毒、マスクを着用してご参加いただきました。また、受付や先生方はフェースシールドを付けて対応いたしました。今回は時間を約 1 時間半と短縮して行いました。12 名の方の参加があり、このうち初参加が 8 名、ご本人と奥様のご夫婦での参加が 3 組、兵庫県からご参加された方もいらっしゃいました。

レクチャー「レビー小体病認知症の診断とコロナ対策」

初参加の方が多くいらっしゃったことから、顧問医である坪井先生から、レビー小体型認知症の診断についてレクチャーがありました。レビー小体型認知症の症状は運動症状、精神症状、認知機能低下など多彩で、不安やうつ、その他の憂鬱、大きな寝言、頻尿、立ちくらみなどの症状も多いこと、早期診断で適切な治療と介護者の理解が重要なことの説明がありました。そして、コロナ対策をしながら、「今できること」をしっかりと行いましょうとお話されました。

グループワーク

顧問医、協力医を囲んで、ソーシャルディスタンスをとった距離で、お一人ずつ現状と意思についてお話しして頂きました。

今回、「車の運転」について話題になりました。仕事上、車の運転が必要だというお悩みです。リモコンの操作など実行機能に問題がある場合、車の運転も難しくなっている可能性が高いです。また、道路交通法の改正で認知症の人は運転が禁じられていること、事故を起こして訴訟を起こされた場合負けてしまうこと、などそれぞれの体験談や先生方からのアドバイスがありました。ご本が納得されることが大事ですが、タクシーや宅配など代替手段を使って生活され

ることが勧められました。

次回は、ご本人とご家族からお話して頂く予定ですが、新型コロナウイルス感染の状況によっては延期・中止や一部会の内容が変更になる可能性がありますのでご了承ください。また、ご参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。

次回の研修会・交流会は、2020年9月3日（木）18時～ BiVi 福岡 6階会議室です。



報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織



報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織